

「看護の日」記念事業を5月7日に開催しました。

講演会

和歌山県で地域医療にご尽力されている安川診療所 安川 修先生に「尊厳を守る在宅医療について」と題してご講演いただきました。

～家で大切な人を看取る文化は日本では 1950 年頃は一般的であったが、徐々に減少し、現在は医療機関で看取ることが一般的になっている。看取る文化を取り戻すには制度だけではなく当事者・家族・医療介護の方の中で「納得」のよりどころが必要である～という篤いメッセージに参加者一同が感銘を受けました。



参加された方より

- ・言葉にならないくらいいいお話でした。訪問看護これからも頑張ろうとおもいました。若い人たちが大勢先生の話聞いてくれたので、よかった。
- ・私の祖父が安川先生に最期在宅でみてもらっていました。今回将来について考えられる機会となりました。安川先生が最期まで祖父の手を離さずにごくださったように私もそんな看護師になれるようがんばります。

DVD視聴



県内の看護師等養成所、保健看護学部のある大学の紹介のDVD「看護職を目指す方へ」の視聴が行われました。県内の高校生 中学生の方々43名が参加しました。熱心に視聴する様子が印象的でした。

白衣体験

白衣体験です！

看護技術を身につけるときに使う器具の展示



まちの保健室



～県民の皆様「看護の心」を発信することができました。ありがとうございました～